

意義と効果

冬季オリンピック・パラリンピック招致が 人々とまちに豊かさをもたらす

半世紀を経て、世界最大の冬のスポーツイベントを開催することは、まちににぎわいを生み出し、再び世界に札幌・北海道の魅力を発信する絶好の機会になります。

スポーツの力で市民に夢と誇りを

自分の住む街で開催される喜びと興奮

一流選手の熱戦を間近に見られるだけでなく、世界中が注目する祭典が地元で開催されることで、次代を担う子どもたちの夢や誇りを持つ心を育みます。

世界を身近に感じる

海外から訪れる選手や観光客と触れ合うことで、文化の違いを肌で感じ、世界に目を向けるきっかけになります。



オリンピックでまちが変わる

競技施設や民間施設が新しく

更新の時期を迎える競技施設が国際基準のものに建て替わるほか、市内のホテルや飲食店などでは、観光客の増加を見越したリニューアルの進捗が期待されます。

パラリンピックを契機により優しいまちへ

将来の超高齢社会を見据え、年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人々が安心して快適に過ごせるバリアフリーのまちづくりが加速します。



札幌・北海道の経済が元気に

開催中に訪れる観光客は約377万人

オリンピックの開催が決まると、まちの注目度が上がり、期間中のみならず、世界各国から大勢の観光客が札幌を訪れることが見込まれます。

経済波及効果は道内で約7,700億円、約61,000人の雇用を誘発

新たな需要や雇用を生むとともに、施設を活用した国際大会や合宿の招致など、開催後も継続的な効果が期待できます。



専門家に
聞く

札幌がアジアにおける冬季スポーツの牽引役に！



早稲田大学
スポーツ科学学術院
原田 宗彦 教授

良質な雪に恵まれ、交通網など都市基盤が整う札幌は、オリンピックの開催に適した都市です。2度目の開催は、札幌が世界、とりわけアジアにおける冬季スポーツの牽引役としての確かな地位を築くだけでなく、都市のブランド力を高め、観光客を増やすことにもなります。また開催後も、競技施設を活用しながら、国際大会の開催・選手の育成に努めることで、世界・アジアからの注目を集め続けることができます。

けんいん
アジアにおける
スポーツツーリズム※
先進都市へ

オリンピック後も
競技施設を活用し
世界・アジアに貢献



※スポーツを観光資源として生かし、スポーツ観戦やイベントと、開催地周辺の観光とを組み合わせた観光誘致戦略